

Rotary



SENDAI MIYAGINO

Weekly report

No.845

2017-2018 年度
仙台宮城野口ロータリークラブ

例会場/ ホテルメトロポリタン仙台
仙台市青葉区中央 1-1-1 TEL.022-268-2525
例会日/ 毎木曜日 12:30~13:30
事務所/ ホテルメトロポリタン仙台内
TEL 022-268-3243 fax022-268-3296
Email : miyagincrc@dune.ocn.ne.jp



ロータリー：
変化をもたらす

通算 995 回 例会 2017-18 年度 第 5 回 8 月 3 日号

本日の予定

新入会員卓話
本川 武志 会員
「私の履歴書」

例会予定

8月10日(木) 休 会

8月17日(木) 通常例会

卓話：わらび座公演営業部 椿 康寛 様

8月24日(木) 親睦夜間例会「納涼会」

18:30~ 口福吉祥 シーロン にて

◇ 開会点鐘

- | | | |
|----------------|-----|-----------|
| 1. ロータリーソング | ... | 君が代・奉仕の理想 |
| 2. ゲスト及びビジター紹介 | ... | 親睦委員長 |
| 3. 会長挨拶 | ... | 澤田 一幸 会長 |
| 4. 幹事報告 | ... | 塩田 亨 幹事 |
| 5. ニコニコBOX | ... | S・BOX委員長 |
| 6. 出席報告 | ... | 出席委員長 |
| 7. 卓話 | ... | 本川 武志 会員 |
| 8. ロータリーソング | ... | 四つのテスト |

◇ 閉会点鐘

会長報告

澤田 一幸 会長

本日は、国際ロータリー第 2520 地区ガバナー補佐の秋元様をお迎えしてのクラブ協議会を開催いたします。各委員長方は方針の発表、宜しくお願い致します。秋元様ご指導どうぞ宜しくお願いします。

幹事報告

塩田 亨 幹事

【ゲスト】

RID2520 ガバナー補佐 秋元俊通様

- ・ロータリー囲碁同好会より「第 16 回ロータリー全国囲碁大会」のご案内が届いております。参加ご希望の方は事務局までお知らせください。
- ・国連 UNHCR 協会よりメールニュースが届いております。

7/27 ニコニコBOX

☆RID2520 ガバナー補佐 秋元俊通様
…本日はお世話になります。

☆澤田 一幸 会長
…本日は秋元ガバナー補佐にお越し頂き、ありがとうございます。どうぞ宜しくお願い致します。

次週 8 月 10 日 (木) は 休 会 です

次回の例会は 8 月 17 日 (木) となります

8 月は「会員増強・新クラブ結成推進」月間です

8 月のロータリーレート
1 \$ = 111 円

8 月のお誕生日
おめでとうございます！！

8 日 本川 武志 会員
10 日 富田 和彦 会員

ご自宅にお花をお届け致します



7月27日 2017-2018年度 第1回 クラブ協議会

7月27日は例会時間を変更し、本年度第1回目のクラブ協議会が開催されました。

RID2520 ガバナー補佐の秋元俊通様をお迎えし、各委員長から本年度の活動方針が発表されました。

各委員長の発表後に、秋元ガバナー補佐より講評を頂き、RC活動のメディアを活用した広報や職業を絞り込んでの会員増強推進、若い世代へのアプローチなどクラブを充実させるためのアドバイスを頂きました。

会場監督 ◎会場監督 (SAA) : 高橋 良一

久しぶりのSAAを拝命いたしました。多少の緊張感と期待感があります。かつて仙台北RCのバスターガバナー笹氣様がガバナーの任期を終えられた次の年度に引き受けたのはSAAだったことを思い出しました。新人になったつもりで頑張ろうと思います。

◎クラブ奉仕委員会 ◎委員長：森川 昭正

奉仕の一部門である「クラブ奉仕」は「ロータリークラブの機能をより充実させるために、クラブ内で会員がとるべき行動に関わるもの」とされています。仙台宮城野ロータリークラブの活動が、楽しく、全会員が協同して社会に貢献し、有意義で広がりのある行動の全てに関わり、円滑に行えるように補助して行くことが、クラブ奉仕委員会の役割と考えます。

今年度の会長方針を実現するにあたり、ロータリークラブの理解を深めるための勉強会を企画し、何よりもクラブを楽しくするために、活動をしてまいります。

会員増強委員会 ◎委員長：我妻 崇

会員増強は、会員一人一人が積極的に入会希望者を勧誘していただき、名前の挙がった人を委員会が入会までのサポートをするというものだと思います。

クラブは、本来的には、「会員増強」などと言わなくても会員が集まるような、そのような魅力的なクラブであって欲しいものです。そのためには、どのようなクラブ作りをしていくかということをご検討いただきたいと思います。

入会希望者の名前を挙げていただければ、委員の方でその方に会いにまいります。ご支援、ご協力をお願いいたします。

出席委員会 ◎委員長：土屋 孝治

2017-2018年度会長方針「共に活動し、共に奉仕し、共に頑張る」仙台宮城野ロータリーになるためには例会出席率向上が不可欠だと思います。例会、夜間例会の出席率80%を目指すため声掛けに努めてまいりますのでご支援ご協力をお願いします。

S・BOX委員会 ◎委員長：畑中 健作

本年度ニコニコボックス委員長を仰せつかりました宜しくお願ひ致します。会員、家族、事業所、等のお祝い事を楽しく紹介したいと思います。どのような小さな事でもご寄付くださいますようお願い致します。

ニコニコを通じ、明るく楽しい例会の一助になればと思っております。みなさま宜しくお願ひ致します。

ロータリー情報会報委員会 ◎委員長：丹野 憲二

今年度、当委員会の目標及び活動計画は以下の2点としたい。

- ① ロータリー情報に関しては、ロータリーとは何か、またどのような活動をしている団体なのか、更には会員の特典と義務についての情報を判りやすく会員増強委員会とも協力して入会候補者へ提供する。
- ② 会報に関しては、現在のクラブ週報を継続発行し、種々の行事予定を知らせることにより、更なる出席率の向上を計ると共に、仙台宮城野RCの活動内容をメディアに積極的にPRする。

プログラム委員会 ◎委員長：豊嶋 正孝

ロータリー活動の重要な要素である卓話を充実させるため、例会スピーカーの招聘活動に力を注ぎます。5人の委員との連携、各委員会との調整等を図り、充実した卓話の開催を目指します。また、会員の皆さんの卓話スピーカーの紹介も、お願ひしたいと思います。委員会のメンバーと会員の皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

親睦委員会

◎委員長：大泉 裕一

「共に活動し、共に奉仕し、共に頑張る」という会長方針の下、宮城野ロータリアン全員がひとつのチームとして活動するようなクラブになるためには、相互の親睦及び理解が重要であると考えております。当委員会では、そのための手助けとなるような行事を企画し、運営に取り組んで参る所存でございますので、皆様、1年間、何卒よろしくお願ひ致します。

◎職業奉仕委員会

◎委員長：荒若 健志

1. 会長方針である、「共に活動し、共に奉仕し、共に頑張る」を実践する。
2. 例会での会員による職業奉仕スピーチ・情報発信の機会を設けていきたい。
3. ロータリークラブにおける職業倫理に基づいてクラブの普及に努める。
4. 会員相互の職場訪問を企画・実践する。

◎社会奉仕委員会

◎委員長：小原 喜公夫

地域社会に適した社会奉仕活動を念頭に、また会員皆さんの一致した協力のもとに計画した事業を実施していきたいと思ひます。

- ① R I 会長方針に基づき、会員一人1本の木を植えるということから植樹のイベントに参加したいと思ひます。
- ② 今まで継続されてきた震災やその他の災害被害に対する支援、青少年活動に対する援助をしていきたいと思ひます。

◎青少年奉仕委員会

◎委員長：横山 昭一

年齢 30 歳までの青少年が将来、地域のリーダーとなるために必要なスキルを身につけるためのプログラムがロータリーにはあります。

大震災後、地域の子供たちに向けた奉仕活動は継続されてきました。本年度は、R I 常設プログラムの中の地元高校生を対象とした支援プログラム「インターアクトクラブ」の設立に向けての情報収集など、準備期間の一年と考えております。

◎国際奉仕委員会

◎委員長：延川 正英

ロータリーの国際奉仕の目指していることは、奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進することにあります。

今期は前期から継続して推進している韓国ソウル rotc ロータリークラブとのグローバル補助金事業(未婚の母就業支援プロジェクト)を実行し、できればより多くの会員と韓国に訪れ、事業の進行を確認してきたいと思ひます。

ロータリー財団委員会

◎委員長：松井 有紀

ロータリー財団が関与している様々なプログラムを会員に啓蒙し、活動の意義を理解してもらい財団への寄付を促す。具体的には、ポールハリスフェロー、準フェローへの積極的な協力をお願いする。

米山記念奨学委員会

◎委員長：富田 和彦

ロータリー米山記念奨学会は将来母国と日本との懸け橋となり国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としております。

米山奨学生はロータリーを通じて日本の文化、習慣に触れ社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造に貢献する人となることが期待されます。

我がクラブとしてもこれまでの実績を踏まえてさらなる啓蒙活動に取り組んでいきたいと思ひます。

2017-18年度は
財団設立50周年



ロータリー米山記念奨学会は2017年7月、財団設立50周年を迎えます

1952年に東京ロータリークラブが始めたこの事業は、またたく間に日本全国へ広がり、1957年には財団法人設置を前提とする全国組織、「ロータリー米山奨学委員会」が結成されました。1967年には悲願の財団法人となり、以来50年、日本のロータリーや学友が思いをつないでいます。財団法人設立当時、年間59人だった奨学生数は、今では約800人、累計では19,808人となりました。

「平和日本を世界へ」——。当初のロータリアンたちの願ひは、半世紀の時を経て少しずつ花となり、実となっているのではないのでしょうか。